

ぼんてんきく 梵天菊作り



ごうばち ちょっけいやく
6号鉢：直径約18センチ

1 ばいようど 培養土

菊用の培養土を用意する。

2 うか 植え替え

6月下旬に3号ポット苗を6号鉢に植え替える。

- ①鉢底に日向土(大粒)を入れ、その上に培養土を鉢の半分まで入れる。
- ②苗をポットから出し、①の上に置き、根鉢がかくれるまで培養土を入れ、根元を抑える。
- ③必ず鉢の上端から2センチ程空けておく。(ウォータースペース)

3 さいばいばしょ 栽培場所

- ①風通しの良い、5時間以上日が当たる場所で育てる。
- ②夜、外灯など電気の光があたらない場所に置く。
- ③均等に日光をあてるため、9月以降、毎週90度(四分の一回転)づつ鉢回しする。

4 みず 水やり



お水は
たっぷり！

- ①定植後水をたっぷりやり、その後4、5日の日中は日陰に置き、水をやらない。
- ②最初の1ヶ月はペットボトル(500ml)に三分の一程度の水を毎日あげる。
- ③2ヶ月目(8月)からはペットボトル(500ml)に半分程度の水を毎日あげる。
週に一回、水やりに代えて千倍以上に薄めた液肥(ハイドロネックス、花工場等)を10月中旬まで与える。(千倍液肥の例；水10ℓ以上に液肥10ml(キャップ1杯))
(注)水やりはできるだけ朝に行う。

5 てきしん 摘芯(ピンチ)：茎の先端をカットすることです。こうすることで脇芽が育ちます。

- ①初回は茎が5cm程度のびたら葉を5~6枚残して芽の先端を摘み取る。
- ②以降は2、3週間に一度、葉が6枚以上になれば、4、5枚残して先端を摘芯する。
- ③最後の摘芯は9月15日~20日で終わらせる。



6 ひりょう 肥料及び殺虫剤(オルトラン)

- ①乾燥肥料を月に1回、小さじ1杯程度を鉢の縁3か所に置く(計3杯)
⇒9月中旬まで。
- ②殺虫剤を月に1回、小さじ1杯程度を鉢の縁全体に均等にばらまく
⇒10月中旬まで。
- ③肥料及び殺虫剤は封をして子供の手の届かないところに保管する。



秋にはきれいな菊を
咲かせてくださいな

